

## 不整脈外来 ～不整脈の種類と治療の必要性～

### 不整脈とは

不整脈は脈が乱れる心臓の病気の為、意識を失ったら大変危険な病気です。

不整脈には頻脈性不整脈（脈拍が速くなる不整脈）と徐脈性不整脈（脈拍が遅くなる不整脈）がありそれぞれの症状に合わせた治療法を外来でお話します。

### 不整脈の種類

不整脈は発症すると心房の動きが徐々に失われていく進行の病気です。不整脈が原因で意識を失ったら大変危険なため精密検査が必要です。

#### 発症後、すぐに命の危険（緊急で治療が必要）

心室細動、心室頻拍、房室ブロック

#### 発症後、長期間にわたり命の危険が生じる（治療が必要）

心房細動、心房粗動、心房頻拍（一部）、洞不全症候群

#### 一般的には命の危険はない（心不全発症のリスクがある又は症状がある場合は治療を検討）

心房頻拍、発作性上室頻拍、心室性期外収縮、上室性期外収縮

### 検査と治療

不整脈の検査は、心電図検査を中心に、胸部X線、血液検査、さらに24時間心電図、運動負荷心電図、心臓超音波検査などを行います。検査方法については担当医が症状に合わせた検査を提案します。

検査の結果、不整脈と診断された場合薬では治りません。

不整脈に対する薬の治療（頻脈性不整脈の症状を和らげる目的に行う治療）や薬以外の治療方法を提案していきます。

- [カテーテル・アブレーション](#)（頻脈性不整脈を治す目的で行う治療です）
- ペースメーカー（徐脈性不整脈に対する治療です）

